

	<b>バッテリーキーパーⅡ</b> <b>取扱説明書・保証書</b>	<b>適応機種</b> <b>12V電装車</b>
---	---------------------------------------	------------------------------

はじめに

#### ☑お客様へ

このたびは、バッテリーキーパーⅡ Q5K-YSK-001-Y33をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本器は維持充電機能を備えた12Vバッテリー専用充電器です。ご使用前にこの取扱説明書を必ずよくお読みいただき、正しくご使用ください。なお、お読みいただいた後もお手元に置き、ご活用ください。

#### ☑販売店様へ

本製品の商品説明および取り扱い上の注意点を、お客様に充分ご説明いただくようお願い申し上げます。保証書は、販売店様印を必ず捺印のうえ、お客様にお渡しください。

## 安全上のご注意

ここに示した注意事項はあなたやほかの人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。必ず守ってください。

⚠ 危険	取り扱いを誤った場合、死亡または重傷に至る危険が差し迫って生じると想定される場合
	<b>■タバコなどの火の気のある場所、風通しの悪いところでは使用しないでください。</b> バッテリーが引火爆発したり、バッテリーキーパーが過熱・発煙する原因となります。
	<b>■適合するバッテリー以外を充電しないでください。</b> また、バッテリー充電以外の用途（直流電源などとして）に使用しないでください。 バッテリーキーパーが過熱したり、バッテリーの液もれ・発熱・爆発の原因となります。
	<b>■充電クリップをバッテリーに接続するときは、電源プラグを必ず抜いてから接続してください。</b> また、充電停止時は電源プラグを抜いてから充電クリップを外してください。 操作順序を間違えると、発生するスパークによりバッテリー爆発の原因となります。
	<b>■子供・乳幼児には手をふれさせないように注意してください。</b> けがや感電したり、バッテリーキーパーが過熱したり、バッテリー爆発の原因となります。
	<b>■ガソリン・オイルなどの可燃物の周辺や法令で第一種・第二種危険場所に指定されている場所では使用しないでください。</b> 火災や引火爆発する原因となります。

⚠ 警告	取り扱いを誤った場合、死亡または重傷及び傷害に至る可能性が想定される場合
	<b>■本バッテリーキーパーの交流入力は、指定された範囲の商用電源を使用してください。</b> バッテリーキーパーが過熱したり、感電・けがの原因になる恐れがあります。
	<b>■電源コードは、コードを引っ張らず、必ずプラグを持って抜いてください。</b> また、使用しない時はプラグをコンセントから抜いてください。 電源コードが破損し、感電・発煙・発火・火災や感電・けがの原因になる恐れがあります。
	<b>■分解したり、改造したりしないでください。</b> 発熱・発火・火災や感電・けがの原因になる恐れがあります。
	<b>■異常や不具合が生じた場合は、ただちに使用をやめ、メーカーか販売店にご相談ください。点検・調整・修理はメーカーかメーカーが指定するサービス店に依頼してください。</b> バッテリーキーパーの過熱や感電、バッテリーの爆発などの原因になる恐れがあります。
	<b>■湿度の極端に高い場所、雨・雪など水分のかかる場所で使用しないでください。</b> 漏電・感電・バッテリーキーパー破損の原因になる恐れがあります。
	<b>■振動・塩害・化学性ガス害の受けやすい場所での保管や使用はしないでください。</b> 漏電・感電や故障の原因になる恐れがあります。

注意	取り扱いを誤った場合、物的損害の発生が想定される場合
	<b>■直射日光下や発熱体の近くなど、高温の場所では使用しないでください。</b> バッテリーキーパーの過熱・焼損、バッテリーの液もれ・発熱・変形の原因になる恐れがあります。

## Q5K-YSK-001-Y33形バッテリーキーパーⅡ保証書

この保証書は、本書の記載内容で無料修理をさせていただきますことをお約束するものです。保証期間中に故障した場合は製品と本書をご持参の上、お買い上げの販売店にお申しつけください。保証書は再発行いたしません。大切に保管してください。

### —無料修理規定—

- 取扱説明書にしたがって正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、お買い上げ販売店で無料修理いたします。なお、故障の内容により、修理にかえ、同等製品と交換させていただきますことがあります。
- 保証期間内でも、次の場合には有料修理となります。
  - 保証書のご提示がない場合。
  - 保証書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または、字句を書き換えられた場合。
  - 使用上の誤り、または不当な修理および、修理や改造による故障・損傷。
  - お買い上げ後の落下などによる故障・損傷。
  - 火災・地震・動乱などの不可抗力により生じた破損・故障・機能低下。
  - 消耗品およびこれに準ずる部品（LED、コード類、クリップなど）が消耗し取替えを要する場合。
- この保証書は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid in japan.

製造番号：

保証期間：お買い上げ日より1年間

お買い上げ日：平成 年 月 日

お客様	お名前	様
	ご住所	〒
	電話番号	( ) -
販売店名・住所・電話番号		

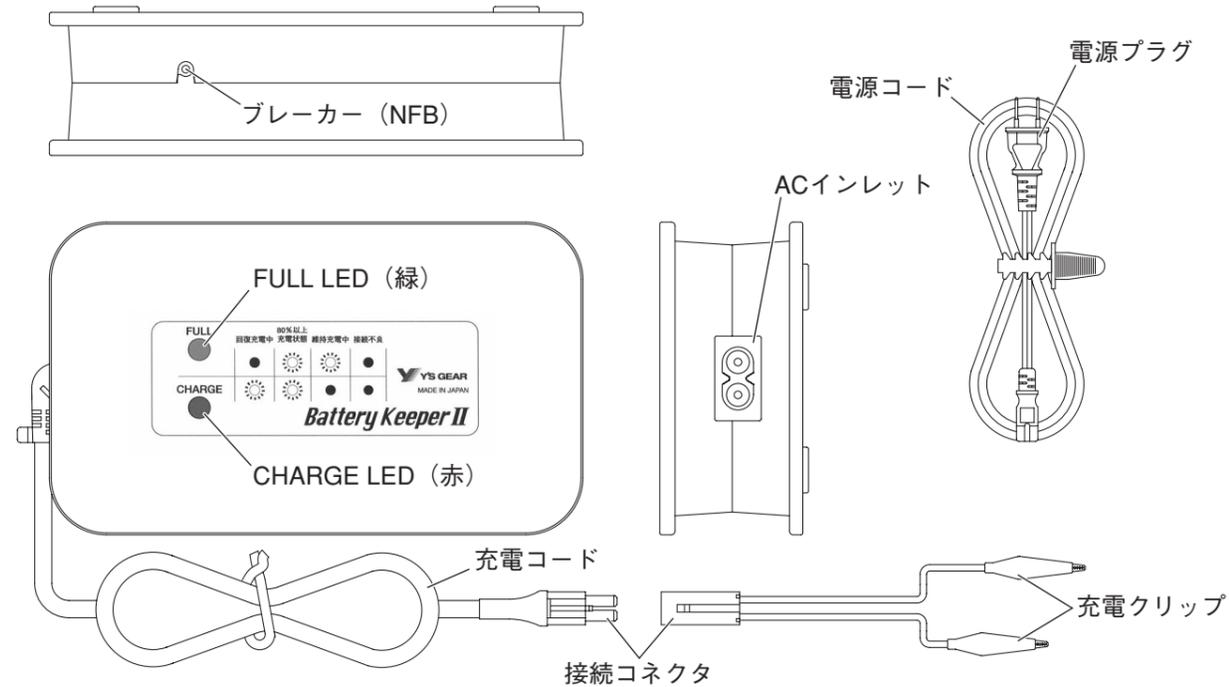
発売元：(株)ワイズギア

〒432-8058 静岡県浜松市南区新橋町1103番地  
TEL 0570-050814

製造元：(有)アルプス計器

〒381-2411 長野県上水内郡信州新町大字竹房285番地  
TEL 026-262-2111

## 各部の名称



## 主な仕様

適合電池	入力	出力	安全規格	寸法 (mm)			質量 (kg)	コード寸法 (m)	
				巾	奥行	高さ		入力側	出力側
12V 9-28 (Ah/10HR)	AC100V~240V 50/60Hz	DC12V 1A		140	82	39	0.4	約1.8	約1.7

## ご使用の前に

必ず電源プラグを抜いた状態（本体停止状態）になっていることを確認してから作業してください。

1) バッテリーキーパー接続の前に、次の事項を必ず確認してください。

液式バッテリーの場合、バッテリーの電解液量を点検し、電解液が足りない場合は、精製水を補充してください。

2) 維持充電機能について

バッテリーの自己放電を補い、常に使用可能なレベルを維持することができます。ただし、液式バッテリーの場合、充電するバッテリーの電解液レベルは、通常の範囲内（min.とmax.の間）にあることが前提です。電解液レベルが低いまま充電すると、バッテリーの寿命を大きく縮めたり、基本的機能を損なうことがあります。電解液の補充、レベル調整には必ず精製水を使用してください。さらに、連続充電期間は3ヶ月以内としてください。

注：車両を乗らずに放置しておく場合、目安として3ヶ月に一回充電してください。放電したまま放置しておく、新しいバッテリーでも回復不能になります。注意してください。

注：充電する場合は、直射日光の当たらない風通しのよい場所で使用してください。

注：バッテリーキーパーをビニール袋等でおおっての使用は、故障などの原因となります。

注：商用電源以外の電源（発電機、車中電源等のコンバータ）は使用しないでください。

注：6V電池等、上記適合電池以外は充電しないでください。

## 使用方法

### 充電の手順

- 必ず電源プラグを抜いた状態（本体停止状態）になっていることを確認してから、作業を進めてください。
- バッテリーの端子を確認のうえ、⊕端子に赤クリップを、⊖端子に黒クリップを接続してください。
- 電源コードをバッテリーキーパー本体（ACインレット）に接続してください。
- 電源プラグをAC100Vコンセントに差し込んでください。CHARGE LED（赤）が点灯し、充電を開始します。
- 充電が進行し、80%以上充電完了状態になると、FULL LED（緑）も点灯します。CHARGE LED（赤）とFULL LED（緑）が点灯した状態は、車両の走行に問題ないレベルまで充電が完了したことを現しています。引き続き充電するとCHARGE LED（赤）が消灯し満充電となり、その状態を維持します。（維持充電）
- 充電を停止するときは電源プラグを抜き、本体停止状態にしてから充電クリップを取り外してください。

注：維持充電を継続する場合の連続充電期間は、3ヶ月以内としてください。

### LED表示と充電状態

充電状態	CHARGE LED（赤）	FULL LED（緑）
本体停止状態	消灯	消灯
充電中	点灯	消灯
タイマー充電中	点灯	点灯
維持充電中	消灯	点灯
バッテリー未接続状態	消灯	消灯

注：エンジンが始動できない状態で充電を開始し、すぐにFULL LED（緑）のみが点灯する場合、バッテリーが劣化している可能性があります。

注：充電を開始してもどちらのLEDも点灯しない場合は、電源コード、充電クリップ、接続コネクタの接続不良か、NFBが作動していると考えられます。各部を再度確認してから充電を始めてください。

## 保護動作

- 入力（1次側）：電流ヒューズにより、回路異常から保護。
- 出力（2次側）：電子回路及びNFBにより、バッテリー逆接及び出力短絡から保護。

## 異常時の点検方法

症状	原因	処置
LEDが点灯しない。 （赤、緑とも）	電源コードが正しく接続されていない。	各接続部を確認してください。
	NFBが作動している。	作動した原因を解決してからNFBを復帰させてください。
	充電クリップがバッテリーに正しく接続されていない。	充電クリップ接続部を確認し正しく接続してください。
	接続コネクタが外れかかっている。	ロックがかかるまで差し込んでください。
明らかに放電しているのにすぐに維持充電モードに移行する。	バッテリーが劣化している。	バッテリーを交換してください。